

MBCテレビ 毎週水曜日10:28~10:35放送中!

国保で
HOT情報

社会全体で支援する 県民一人ひとりの健康づくり

鹿児島県 ● 健康に関する取り組み



鹿児島県における健康に関する取り組みについて説明する鹿児島県保健福祉部健康増進課の西宣行課長（写真右）と和田由樹健康リポーター

——10月から鹿児島県では、健康に関するさまざまなキャンペーンや取り組みをしているそうですね。西課長／県民の方々に自分自身の健康について考えてもらうため10月を臓器移植普及推進月間、ピンクリボン月間、そしてかごしま健康イヤローカードキャンペーん強化月間と定め、さまざまな普及啓発を開催しています。

——最近、駅の構内等で結核ポスターも見かけますが、これもキャンペーンの1つですよね。結核というと過去の病気のイメージですが…。西課長／結核は過去の病気ではありません。日本は世界的にも、結核の中まん延国に位置づけられており、鹿児島県でも毎年350人を超える新規の患者が発生しています。そしてその初期症状は風邪と似ていますが、咳が2週間以上おさまらない、微熱や痰が続く、倦怠感や胸痛等の症状があつたら、ただちに医療機関を受診してください。

20人に1人がかかる乳がん

——そうですね。市町村や職場の検診も積極的に利用して、早期発見に

——ピンクリボン月間中はさまざまなイベントもあるんですね。

西課長／ピンクリボンフェスタや

——まず臓器移植普及推進月間とはどのような取り組みなのですか？西課長／県医師会や角膜・腎臓バンク教会、患者会等の関係団体と連携し、臓器移植や角膜移植への正しい知識と理解を深めるための普及啓発キャンペーンを開催しています。

西課長／日本人女性は生涯のうち、20人に1人が乳がんにかかる可能性があると言われています。それは食生活の欧米化などに伴い年々増加傾向にあるのです。そこで関係団体と協力して、乳がんの早期発見や早期治療に向けた啓発を実施しています。乳がんは早期発見すればほとんどが治る病気。定期的に検診を受けることが大切なのです。

朝晩肌寒く感じるようになり、食欲の秋、スポーツの秋がやってきます。一方で、このような季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。国保でHOT情報では、健康に関する社会的な取り組みについて、鹿児島県保健福祉部健康増進課の西宣行課長にお話を伺い、10月1日と8日の2週にわたってお伝えしました。

結核は過去の病気ではない

——まず臓器移植普及推進月間とはどのような取り組みなのですか？西課長／県医師会や角膜・腎臓バンク教会、患者会等の関係団体と連携し、臓器移植や角膜移植への正しい知識と理解を深めるための普及啓発キャンペーンを開催しています。

結核予防週間
9/24㈬ 9/30㈫



結核の初期症状は、風邪とよく似ています。
こんな症状で来院は、お問い合わせ時に医療機関を受診しましょう。

せき

たん

発熱



結核について正しい知識をもってもらうための予防週間ポスター



鹿児島県ピンクリボン月間のポスター。乳がん患者は年々増加しているが、マンモグラフィでは早期がんの発見が可能。積極的に受診したい

食生活が多様化し、生活も不規則になりがちな昨今、不健康な生活習慣の積み重ねは、深刻な病気を引き起こすことがあります。健康づくりはまず自分の体を知ることから。身近な健康教室や健診を利用して、自分自身の健康を見つめなおす機会にしたいものです。

西課長／朝食をしつかりとつて腹八分目を守る等、食生活の改善や運動をすることはもちろんですが、健診や保健指導を積極的に受けることが大切なのです。

增加傾向にある鹿児島県民の生活習慣病
——最後に、かごしま健康イエローカードキャンペーン強化月間にについて教えてください。

西課長／健康づくりは個人の取り組みが大切ですが、一人ひとりの健康を社会全体で支援することも重い教えてください。

——メタボリックシンドロームにならないためには、どのようにすれば良いのでしょうか？

西課長／朝食をしつかりとつて腹八分目を守る等、食生活の改善や運動をすることはもちろんですが、健診や保健指導を積極的に受けることが大切なのです。

街頭キャンペーンのほか、県庁舎内や県内各地にピンクリボンツリーを飾り、乳がん検診への関心を高めます。さまざまな場所でピンクリボンを見てもらうことで、乳がんの早期発見・早期治療の重要性を伝えたいですね。

要です。そこで県では平成13年度に「健康がごしま21」を策定し、平成17年度にその中間評価を実施したところ、糖尿病や高脂血症等の生活習慣病が増加傾向にあり、県民の食生活や運動習慣に課題があることが分かりました。そこで生活習慣の改善を呼びかける「かごしまイエローカードキャンペーン」を健康関連団体と協働で展開し、10月を強化月間としているのです。

ボリックシンドロームという言葉をよく耳にするとと思いますが、お腹周りが男性で85cm以上、女性が90cm以上であることに加え、脂質や血压、血糖値のうち2つ以上が基準値を超える場合に該当し、いずれか1つはその予備群となるのです。鹿児島県内では男性の40%、女性の20%が該当者と予備群にあたると言われており、この状態を放つておくと、糖尿病や脳卒中、心筋梗塞など、生命にかかる重大な病気になってしまいます。

**抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
レミケード点滴静注用100
REMICADE[®] for I.V. Infusion100**

抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

REMICADE[®] for I.V. Infusion100

インリキシマブ(遺伝子組換)製剤

生物由来製品(医薬) 指定医薬品 記方せん医薬品 (注意: 医師等の処方せんにより使用すること)

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



製造販売元(資料請求先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10

2008年2月作成